

展 示 室 の 案 内

展示室は研修センターとなっている旧庁舎の一部を利用して設けられているが、20周年を記念して内容を改め、11月1日オープンした。一・二階の2部屋にわかれ、写真62枚、模式図17枚、材鑑27本、種子標本105種、その他標本37点、計248点をそれぞれのコーナーに展示し、会場を訪れる見学者の目を楽しませている。見学の順をおって案内する。

〈一 階〉

当場の位置 本場（美瑛市）、道南支場（函館市）、道東支場（新得町）、道北支場（中川町）の位置と写真による庁舎の紹介。会場発行の主な刊行物。

北海道の森林 道内の国有林と民有林の分布図。土壌図、林相図、地質区分図、地形区分図、年降水量の分布図、雨量因子の分布図。森林土壌型の7種の断面標本。

森林のはたらき 写真による木材生産機能と公益的機能の説明。

北海道発展計画の概要 昭和53～62年の道の行政の基本的指針である「北海道発展計画」の林業部門の主要目標と主要指標を、グラフなどで10年後の北海道林業の姿として示した。

林木育種 精英樹選抜による育種事業のすすめ方の模式図。写真によるカラマツ、トドマツ、アカエゾマツの採種園と着果結実の状況。カラマツ雑種の育種の効果、トドマツの種子の産地による生長や寒害率のちがいなど。球果や花粉なども展示。

カラマツの造林

〔保育〕 図と写真によるカラマツ人工林の間伐効果の説明。ヘリコプターによる殺鼠剤散布の写真と殺鼠剤のサンプル。

〔被害〕 マイマイガ、カラマツヤツバキクイムシ、エゾヤチネズミ、先枯病、辺材腐朽、心材腐朽、雪害などによるカラマツ林の被害状況を示す写真や被害木。

〔円板〕 カラマツの生長経過を示す長野県白田営林署産、名寄林務署産、旧狩勝峠鉄道防雪林産の円板。

〔材の利用〕 林産試験場試作によるカラマツ材のエンボス・ボードを壁にはり、その上にグラフによるカラマツの用途と写真によるカラマツ材の利用状況の紹介。

材鑑 各林務署に依頼して提供していただいた、道内に生育する主な樹種の材鑑で、林産試験場に依頼して長さ106cmに加工、処理していただいた、当展示室で最も貴重なもの。



〈二 階〉

トドマツの造林

〔植栽されるまで〕 トドマツの球果，種子，1～5年生の苗木の標本。

〔造林地〕 林齢13年生の精英樹次代検定林の生育状況を示す写真。

〔保育〕 写真によるトドマツ人工林の間伐した林分としない林分の生長の違いの紹介。

〔被害〕 トドマツオオアブラ，ツガカレハ，トドマツがんしゅ病，トドマツ胸枯病，苗畑と造林地の寒風害の被害状況を写真で説明。

円板 年輪を利用して北海道のあゆみを説明したヤチダモの円板，函館林務署産のトドマツ円板，当场構内産の改良ポプラI-214号の円板。

その他人工林 スギ，アカエゾマツ，改良ポプラ，ウダイカンバの人工林の生育状況を示す写真。

天然生林 トドマツ，エゾマツ，アカエゾマツの天然生針葉樹林，ヤマナラシ，ミズナラ，ダケカンバ，ブナの天然生広葉樹林，トドマツを主体とする天然生針広混交林，天然林択伐跡地へのトドマツ植え込み地の写真。

環境保全と緑化

〔環境保全〕 防災林のはたらきとその効果，崩かい地の緑化工法，道内の海岸地帯別防災林の適樹は何かなどを写真と模式図でわかりやすく説明。

〔森林の防音効果〕 広葉樹林や針葉樹林があると騒音がどの程度やわらげられるかを，森林がない場合とグラフで比較。

〔庭木と生垣〕 美しい花木や生垣の写真と，街路樹の被害は人害が多く，モラルの向上をうったえるグラフの紹介。

〔緑化樹の増殖〕 きし木したエゾムラサキツツジとイチイ，つぎ木したナナカマドとキタゴヨウマツなどのほか，枝の切り方の説明。

〔北海道の自然公園〕 北海道自然環境保全関係地域分布図と自然公園の写真。

〔大気汚染〕 大気汚染による亜硫酸ガスに対する樹木の抵抗性，亜硫酸ガスに強い樹種や弱い樹種，樹木の被害症状など。

森林の動物たち オオコノハズク，トラフズク，フクロウ，マヒワ，ジュウイチ，ツツドリ，キジバト，ニホンイタチの剝製，フクロウに丸のみされたネズミの骨（ペリット）など。

被害木など オオトラカミキリやカラマツヤツバキクイムシなどの食痕，スギやマツのコブ病，トドマツ溝腐病による辺材腐朽，マイマイガやオオトラカミキリの幼虫やシャクガ類などの害虫の標本や被害木。

種子標本 道内に生育する主な樹種の種子。

その他 北海道から輸出される製材の見本や当場に栽培されているクルミの殻果形など。

(企画室)